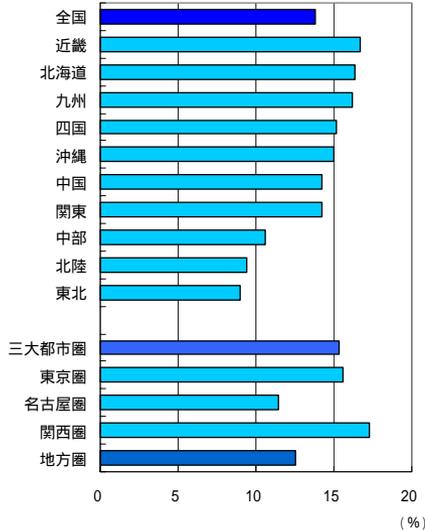


指標：一人暮らし高齢者比率、日常生活に影響のある高齢者比率、介護保険3施設の入所高齢者比率(ブロック・圏域別)

一人暮らし高齢者比率については、近畿、北海道及び九州で高く、日常生活に影響のある高齢者比率については、中国及び四国で高く、介護保険3施設の入所高齢者比率については、沖縄をはじめとする地方圏が高くなっている。

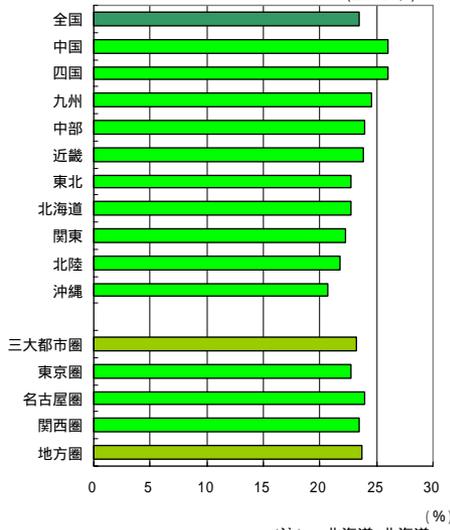
一人暮らし高齢者比率

(65歳以上人口比率) (2000年)



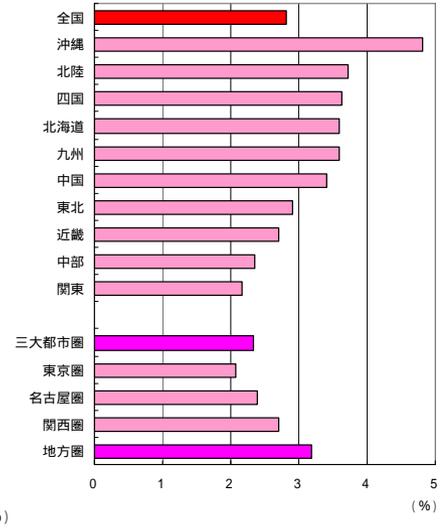
日常生活の影響のある高齢者比率

(65歳以上人口比率) (2001年)



介護保険3施設の在所要率

(65歳以上人口比率) (2001年)



(注) 北海道：北海道
 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
 中部：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 北陸：富山県、石川県、福井県
 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
 沖縄：沖縄県

(出典) 総務省統計局「平成12年国勢調査報告」をもとに作成。
 厚生労働省「平成13年国民生活基礎調査」をもとに作成。
 厚生労働省「平成13年介護サービス施設・事業所調査」をもとに作成。
 (注) 一人暮らし高齢者比率 = 65歳以上単独世帯人口 / 65歳以上人口
 施設入所者、長期入院者は調査の対象外となっている。
 在所要率には2号被保険者(40~64歳)の利用分を含む。